

# 地域ビジネス科の取組

地域ビジネス科では、地域に根差した活動を実践し、企画力や創造力、プレゼンテーション力や調整力を育むとともに、地域に対する愛情や誇りを醸成します。地域の皆さんとつながり、地域の中で学び、地域に一番近い高校として、地域と一緒に成長していきます。

1 「1000日実習」①			<p>3年生、2年生、1年生の3人一組で企業や施設等を訪問し、経営に携わる方々から講義や演習を行っていただく実習です。接客マナーや商品陳列について学ぶ従来の実習とは違い、企業の経営理念や社会的責任、経営者の地域に対する思いや願い、地域社会の現状等について教えていただいています。現在多くの企業・施設等に御協力いただいています。</p>
2 「1000日実習」②			<p>「1000日実習」という名前は、1年365日×高校3年間=1,095日≒1,000日からきています。実習に出かけるのは月に1回程度ですが、実習先からいただいた課題を持ち帰り取り組むなど、常に地域のことについて考えています。また、実習先からの依頼で、実習日以外のイベントなどに参加させていただくこともあり、貴重な体験ができています。</p>
3 「1000日実習」③			<p>【実習先からいただいた課題の例】  「商品のキャッチコピーを考えよう」「フリースペースで行うイベントの企画を考えよう」「(飲食店で開催する)キャンペーンの内容を考えよう」「旅行先を決めるポイントをお家の人に聞いてみよう」「どうすればもっと道後温泉にお客様が来てくれるか高校生らしいアイデアを考えよう」など、多数あります。</p>
4 「道後商店街朝市」へ参加			<p>「1000日実習」の実習先からの依頼で、道後にて松商ブースを出店しました。県内の商業高校が開発した商品を取り寄せて販売活動を行う企画をクラスみんなで計画し、実践しました。道後にちょっとした賑わいを創出することができました。</p>
5 「お城下マルシェin花園」へ参加			<p>地域経済の研究を行う企業と連携し、地域通貨が地域に活力を与える可能性について検証するために、クラスみんなでイベントを企画・実践し、その中で仮想通貨を流通させる社会実験を行いました。</p>
6 通貨についての理解を深めるワークショップ			<p>「通貨とは」について学ぶとともに、通貨と地域通貨の違いについて理解するために、「坊っちゃん団子」の製造と売買を行うワークショップを開催しました。教頭先生をはじめ、多くの先生方にも参加していただきました。</p>
7 PBLワークショップ (問題解決型学習)			<p>イベントを企画する際に必要な手順である、①エントリー ②チームビルディング ③プロジェクトマネジメント ④バージョンアップ ⑤プレゼンテーション ⑥ループリックについて学びました。</p>
8 ふるさと愛媛学 ~大街道編~			<p>愛媛県スポーツ文化部まなび推進課による出前授業への参画です。1回目は、「思わず誰かに話したくなる大街道商店街の話」というテーマで大街道について学んだ後、フィールドワークを行いました。</p>
9 ふるさと愛媛学 ~道後編~			<p>愛媛県スポーツ文化部まなび推進課による出前授業への参画です。2回目は、「道後の魅力と観光客誘致の工夫」をテーマに講義を受けた後フィールドワークを行い、その後はワールドカフェで意見交換をしました。</p>
10 指認証システム実証実験へ参加			<p>経済産業省の実証実験に、(株)まちづくり松山の方々と一緒に協力させていただきました。街ゆく人に同実験への参加をお願いする活動です。短時間で活動の趣旨やメリット等を説明し、賛同を得なければならない活動は、とても難しいものでしたが新鮮な取組でした。</p>

11 社会人講話①



会社を経営されつつ、地域の活性化に関わる取組を行っている講師の先生からは、私たち若者にもできる地域貢献について話していただきました。

12 社会人講話②③



地域活性化について研究されている企業の方からは、地域を元気にする可能性について、松山ロープウェー商店街の事務局長さんからは、松山ロープウェー商店街の歴史について、それぞれ話していただきました。

13 「まちづくり子どもサミット」へ参加



松山市が開催する「まちづくり子どもサミット」に参加しました。松山市の活性化のためにできることを企画し、平成30年度の「まちづくり提案制度」に応募しました。一次審査（5月）、二次審査（6月）を突破し、実践しました。令和元年度も新しい企画で応募し、採択していただきました。

14 平成30年度 南予第一次産業企業見学



愛媛銀行や安高水産、ベルグアース、土居真珠の方々にお世話になり、南予の第一次産業の企業を見学しました。私たちの生活及び首都圏とのつながりについて理解するとともに、南予の第一次産業を全国にPRする方法について考えました。

15 東京でのポスター展示と令和元年度 東予第二次産業企業見学



南予の魅力をPRすべく、ポスターを作成しました。作成したポスターは、東京新橋にある「香川・愛媛せとうち旬菜館」に掲示していただき、来館者に愛媛の南予のPRを行いました。今年度は東予の大王製紙、おべ工業を訪問させていただきました。現在、東予の第二次産業をPRするポスターを作成中です。

16 平成30年度 防災先進地域訪問



地域社会にとって喫緊の課題である「防災」について、私たちにできることを考えるために、高知大学を訪問しました。高知大学の大学生と一緒に、防災に関するワークショップや高知市内でフィールドワークを行いました。それらの成果を基にして、地域の保育園等で防災教室を開催しました。

17 令和元年度 防災先進地域訪問



今年度は、須崎市でフィールドワークを行い、実際に災害が発生したと想定して、参加者全員で高台に避難しました。慣れない場所での避難は、思ったよりも時間がかかりました。避難所では、みんなでテントを設営し、非常食を分け合いました。翌日は、様々なシチュエーションで適切な判断を行うワークショップを行いました。

18 園児向け防災教室の開催



高知での学びを生かし、防災教室を企画・開催しました。保育園では、「防災すごろく」と「防災紙芝居」を制作し、園児43名を対象に実施しました。認定こども園では、園児400名を対象に、寸劇とクイズによる防災教室を開催しました。この活動からは、企画力に加え、園の先生方との打ち合わせを通して、コミュニケーション力や協働力を育むことができました。

19 松山観光ツアーの企画と実践



松山を観光するツアー（小田高校の生徒さんを対象とした企画「かわいい浴衣で道後をお散歩」と保護者の方を対象とした企画「ぶらり旅道後」）を企画し、ツアーガイドを実践しました。コースの下見、料金の計算、募集広告や旅程表、旅のしおりの作成など、道後の魅力を満喫してもらえるよう工夫しました。

20 1歳児集合！  
～一升餅でお祝いします！～



「松山市まちづくり提案制度」事業に応募し、採択された企画の一つです。第1回は、1歳になった子どもが一升餅を背負う「初誕生」のお祝いイベントを開催しました。多くの地域の1歳児とお父さん、お母さんに参加していただき、懸命に一升餅を背負う子どもに、「頑張って！」とみんなで声を掛け、地域の子どもの成長を地域の皆さんと一緒に喜びました。

21 3歳児集合！  
～七五三をお祝いします！～



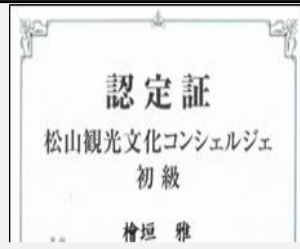
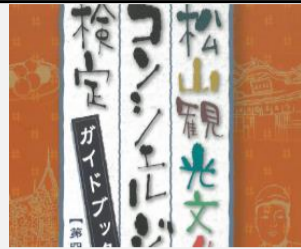
「松山市まちづくり提案制度」事業に応募し、採択された企画の一つです。第2回は、3歳の「七五三」のお祝いイベントを開催しました。「七五三」で着る被布や「Instagram」の枠を手作りし、「映える」写真を撮っていただきました。また、焼き芋大会も開催し、参加してくださったお父さんやお母さん同士の親睦も図っていただきました。

22 6歳児集合！  
～小学校入学をお祝いします！～



「松山市まちづくり提案制度」事業に応募し、採択された企画の一つです。第3回は、小学校入学をお祝いするイベントを開催しました。砥部焼に自分の名前などを描いてもらい、小学校入学の記念にしてもらいました。その後、初午の日になんで、みんなでいなり寿司を作りました。

23 松山観光文化コンシェルジェ検定  
初級に挑戦



松山の観光や文化に関する知識を習得するとともに、地元に対する愛情と誇りを醸成するため、松山商工会議所が主催する「松山観光文化コンシェルジェ検定」の初級をクラス全員で受検しました。

24 「ふるさとふれあい塾」へ参加



松山商工会議所などが主催し、松山大学で開催される公開講座です。大学生や市民の皆さんと一緒に、本校の地域ビジネス科2年生が合計8回の講義を受講します。1回目の講師の先生は、野志克仁松山市長さんでした。大学で昼食をとったり、講義室で講義を受けたりといった大学の雰囲気も満喫することができました。

25 「まつやま活性化コンテスト」  
グランプリ受賞  
「三津浜市～おいでや三津浜～」  
の開催



松山青年会議所が主催する、「第3回まつやま活性化コンテスト」に応募しました。地域ビジネス科から8作品を応募し、1作品がグランプリ、2作品がアイデア賞を受賞しました。グランプリを受賞した1年生の企画「三津浜市（みつはまいち）～おいでや三津浜～」は、平成30年10月28日（日）に三津浜で開催されました。

26 「三津浜市～おいでや三津浜～」  
の開催



松山青年会議所と協働で開催した「三津浜市～おいでや三津浜～」の様子です。当初、2,000人くらいの来場者を目標にしていたが、はるかに上回る6,000人くらいの人出がありました。地域の方々との協働により、地域に賑わいを創出することができました。

27 「全国ご当地こなもんサミット」  
でのボランティア活動



アイテム愛媛で開催された「全国ご当地こなもんサミット」に会場にいらしたお客様が、商品を購入するために並ぶ列の案内や、清掃活動などのボランティア活動を行いました。地域ビジネス科の生徒だけでなく、商業科の生徒も参加しました。

## 『「地域ビジネス科」での1年間を振り返って』アンケート結果

